

■令和4年6月27日号（第1792号）

- ・国交省 「インフラ海外展開2022」策定＝日本企業の進出を積極支援
- ・洋上風力の建設 地震、津波、台風の外力＝同時発生時の設計手法検討
- ・港湾局 港湾計画業務改善検討会＝効率的・効果的な港湾計画に
- ・港湾空港技術振興会 令和4年度定時総会を開催＝河合氏、岩波氏が特別講演
- ・PIANC 第49回通常総会を開催＝アジア地域の活性化
- ・港湾局 CNPの海外展開支援＝荷役機会や港湾環境など
- ・28日発令国交省幹部人事＝港湾局長に堀田中部地整局長
- ・東京港 品川内貿ふ頭岸壁の改良＝鋼管矢板打設と地盤改良
- ・東京湾口航路 第二海堡の北・東護岸整備＝中央航路の深淺測量等
- ・東京都 新海面、小笠原航空路等＝令和5年度国への最重点要望
- ・宮古港 藤原地区防波堤初弾工事＝被覆・根固工、消波工等
- ・東京港 CNP検討会議事要旨＝脱炭素化コストの行政支援
- ・横浜市 新中期計画の方向性＝横浜港の目指す姿を提示
- ・富山県 伏木富山港の機能強化＝令和5年度国へ予算要望
- ・徳山下松港 徳山地区水深14mバルク岸壁＝今後大型ケーソン製作・築造
- ・高松空港 RESAの施工検討業務＝工事用道路仮設計画の検討
- ・高知港 「三重防護」整備進捗状況＝防波堤延伸で約81%概成
- ・指宿港海岸 湯の浜地区南離岸堤改良＝堤頭部の基礎工、本体工着手
- ・苅田港 新松山地区岸壁細部設計＝水深12m延長240m岸壁
- ・名古屋港 金城ふ頭再整備事業＝年度内概成に向け手続き
- ・長崎空港 RESAの施工検討業務＝別件でWTO土地造成予定
- ・大分空港 エプロン拡張へ実施設計＝中型用の1バースを追加
- ・長崎県 松が枝岸壁2バース化等＝港湾事業への国支援要望
- ・山口県 下関港等整備を国に要望＝令和5年度予算
- ・港コン協総会 「ビジョン2030」策定＝国・地方自治体のパートナーに
- ・CDM研総会 第45回通常総会開催＝海外含め施工拡大に期待
- ・国交省 JAPANコンストラクション国際賞＝質の高いインフラ輸出を表彰
- ・中国地整 水際・防災連絡会議開催＝クルーズ船のコロナ対策等
- ・広島港・空事務所 将来の港湾・空港建設＝地元建設業者と意見交換
- ・東洋建設 土木施工技術研究発表会＝若手の技術研鑽に注力
- ・三菱商事ら 能代市・三種町・男鹿市沖＝洋上風力アセス方法書
- ・北九州空港滑走路延長＝アセス準備書まとめ
- ・中部国際空港＝PI専用HP開設
- ・中国港湾のコンテナ令和3年速報値＝前年比1.6%増
- ・東洋建設人事（7月1日）

- ・あおみ建設人事（6月21日付、8月1日付）

■令和4年6月20日号（第1791号）

- ・港湾局 サイバーポート進捗管理WG＝将来の利用促進に向け議論
- ・洋上風力 今夏に事業者選定評価方法＝基地港は管理者提出案を選定中
- ・秋田洋上風力 タワー本体取付開始＝12月商業運転開始へ作業
- ・横浜港 CONPASの試験運用＝本牧BC・D1、東京港も
- ・港荷協 港湾荷役システム協会に改称＝国際戦略港、物流分野重視
- ・港荷協講演会 大脇崇前・全権大使が講演＝パナマ運河の利用と荷動き
- ・求む！国土交通行政で働く技術系社会人経験者
- ・横須賀港次期計画改訂案＝新港地区の物流機能強化
- ・鹿島港 洋上風力基地港の岸壁整備＝年度後半から地耐力強化工事
- ・横浜市 横浜港等で国へ政策提案＝本牧ふ頭D5再整備など
- ・北海道 令和5年度予算で国に提案＝洋上風力促進や基地港
- ・新潟県 政府への要望活動を実施＝新潟港、直江津港、姫川港等
- ・東北地整 東北港湾アクションプラン＝働き方改革の具体的取組
- ・東京港 コンテナふ頭に再エネ由来電力＝7月から品川、中防外
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場整備＝中仕切り部の地盤改良等
- ・高知港海岸 湾口地区津波防波堤工事＝ケーソン製作、海上仮置場
- ・室津港 防波堤（Ⅱ）着工式典開催＝ケーソン据付工事実施
- ・高知港海岸 湾口地区堤防改良工事＝第2ライン東端部の陸開
- ・名古屋港 新土砂処分場護岸＝西Ⅰ工区上部工実施設計
- ・熊本県 令和5年度国への要望＝熊本港・八代港支援等
- ・和歌山県 令和5年度国への要望＝和歌山下津港、日高港
- ・三重県 四日市港の整備を促進＝令和5年度予算で提案
- ・中国地整 港湾物流のPR動画＝暮らしを支える「海の仕事」
- ・土木学会 上田新会長が就任会見＝令和4年度総会開催、グローバル人材の育成へ
- ・JOPCA 第30回通常総会を開催＝ウェブ会議で活動拡大
- ・東亜建設工業 ブルーカーボン生態系拡大へ取組＝直立護岸への海藻着生を確認
- ・若築建設 グラブ船の全てにGTL燃料＝実証で確認、環境配慮を加速
- ・東洋建設 本部安全衛生推進大会＝3年ぶりに本社で開催
- ・由利本荘市沖洋上風力 方法書の縦覧を開始＝シーテック、三菱商事ら
- ・三井情報ほか 清水港への新RTG導入＝ローカル5G適用試験
- ・横浜港・ハンブルク港 姉妹港締結30周年記念＝港湾脱炭素化で意見交換
- ・政府 PPP／PFIアクションプラン＝空港は8年度までに3件
- ・運天港 国の一部管理を終了＝軽石6万m³除去

- ・名古屋技調 民間技術の発表募集中＝新技術を積極的に活用

■令和4年6月13日号（第1790号）

- ・馬毛島基地 港湾施設、滑走路整備＝短期集中で作業船大量投入
- ・岸田総理 新資本主義実現会議＝海洋での実行計画を議論
- ・リサイクルP推進協 令和4年度総会を開催＝国際資源循環の展開等
- ・二交会 関東地整設置100周年＝関係者招き記念行事開催
- ・港湾局 トレードワルツ社と協同＝貿易手続き全体の電子化へ
- ・安心安全なクルーズ＝寄港促進商品を公募
- ・クルーズ旅客利便性施設＝関係機能整備補助を公募へ
- ・海洋観光への支援事業＝第2回目の公募を開始
- ・4年度直轄事業実施方針 ⑨生産性の向上施策＝プレキャスト化やCNP
- ・川崎港 第2回長期構想検討委開催＝将来像を6つにまとめる
- ・東京都 CNP官民検討会を設置＝形成計画へ第1回開催
- ・北開局 苫小牧港CNP検討会開催＝昨年度基礎調査結果を報告
- ・東北地整・福島県 相馬港復旧方針を策定＝重力式、矢板式等設計方針
- ・釧路港 西港区工事で発注手続き＝土砂処分場、新西・島防波堤
- ・千葉県 令和5年度の予算要望＝千葉港海岸の耐震化等
- ・川崎市 令和5年度の予算要望＝新規扇島バース支援など
- ・中部国際空港 議連が政府に支援志望活動＝第二滑走路等将来構想実現を
- ・徳島飛行場 RESAの実施設計へ＝埋立手続きも今後予定
- ・堺泉北港 農産品輸出で協議会開催＝鮮度保持方策など意見交換
- ・近畿地整ら 深日港洲本港航路再生＝第8回連携協議会開催
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区W81＝資材江東で構造再検討
- ・八代港 CFS倉庫完成式典＝農水産物輸出拡大に対応
- ・境港 外港昭和南水深13m岸壁＝予防保全事業で改良工事
- ・下関市港湾連合会 令和4年度総会開催＝港湾・海岸保全の要望まとめ
- ・海洋調査協会 令和4年度定時総会開催＝阿達参院議員「海の仕事拡大を」
- ・WF協会 第32回定時総会を開催＝新会長に須野原氏就任
- ・洋上風力 長崎県西海市江島沖＝促進区域指定手続きへ
- ・JRE いすみ市沖洋上風力＝配慮書の縦覧開始
- ・枝幸港 屋根付き岸壁1棟目が供用＝水産物の輸出促進に寄与
- ・中国地整 地元建設業者と意見交換会＝働き方改革、作業船維持等
- ・東洋建設 関東・関東建築安全衛生推進大会＝3年ぶりの対面開催
- ・秋田県 国交省等へ要望活動＝洋上風力環境評価と基地港
- ・日本郵船秋田支店開所式＝洋上風力拠点化へ

■令和4年6月6日号（第1789号）

- ・港湾局 港湾空港工事の持続可能性確保＝作業船のあり方を集中議論
- ・洋上風力 事業者選定評価等で企業ヒア＝落札上限や早期稼働優先に疑問
- ・PIANC アジアセミナー2022＝港湾メンテナンス効率化
- ・海上GPS機構 令和4年度通常総会開催＝洋上風力建設でも需要見込む
- ・4年度直轄事業実施方針 ⑧生産性の向上施策＝アイコンやデジタル化の取組推進
- ・港湾局人事（5月31日）
- ・東京港 国際CTのY3バース整備＝護岸地盤改良・岸壁築造準備
- ・千葉港 千葉中央地区複合一貫輸送T＝整備事業着工式典を開催
- ・川崎市臨海ビジョン 13プロジェクト中間評価＝港湾強化は予定通り推進
- ・横浜港 新本牧地区防波護岸工事＝WTOで南護岸築造等
- ・石狩湾新港 12m岸壁と用地護岸整備＝鋼矢板打設と北防波堤延伸
- ・横浜市 アンモニア燃料タグボート＝受入れで日本郵船らと覚書
- ・大分港 大在西ROROバース＝築造工開始、地盤改良追加
- ・川内港 唐浜地区国際物流T整備＝現地工事本格化、浚渫工他
- ・徳山下松港 徳山地区岸壁築造進捗＝新南陽地区では施工検討業務
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線橋梁工＝オフランプの橋脚1基着工
- ・清水港 富士見地区岸壁改良工＝鋼管矢板打設等手続き
- ・広島空港 RESA用地造成工事＝工事用道路、拡張部擁壁工
- ・宮崎空港 RESA用地造成工事＝セルラーB製作据付等
- ・中部国際空港 PI推進協議会発足へ＝透明性ある合意形成目指す
- ・名古屋港管組 水素利活用で基本方針＝CNP形成計画に向け
- ・水産庁 新たな漁港漁場整備長期計画＝第49回分科会開催、具体的な取組を公表
- ・CNAC 令和4年度通常総会開催＝新三ヶ年計画を承認
- ・港湾海岸防災協議会 第62回通常総会を開催＝減災・防災の役割担う
- ・日本港湾協会 協会賞、港湾功労者表彰＝技術賞に横浜港MC4CT等
- ・港湾協会 室蘭市ら5市から提案＝クルーズ、防災、CNなど
- ・中部国際空港ら 植林で広域SDGs活動＝伊勢湾の未来に向け連携
- ・東亜建設工業 2022年3月期決算＝港湾国内土木が堅調
- ・あおみ建設 BIM/CIMの拡充へ＝活用工事報告会を開催
- ・国土審 第2回北海道開発分科会＝港湾・道路整備の重要性等
- ・JOGMEC 「エネ・金属鉱物資源機構」＝洋上風力業務等追加で改称
- ・北海道島牧村沖洋上風力＝アセスへの環境相意見
- ・五洋建設人事（6月1日）

■令和4年5月30日号（第1788号）

- ・日本港湾協会 佐世保市で第95回総会開催＝進藤会長、大脇理事長が就任
- ・港湾局、エネ庁 洋上風力選定の在り方見直し＝事業計画の迅速性を高く評価
- ・R S O 脱炭素化に向けた取組強化＝新規にブルーカーボン研究会
- ・4年度直轄事業実施方針⑦ 担い手の育成・確保＝促進モデル工事の試行拡大
- ・港湾局 遠隔操作R T Gの導入＝補助事業の公募開始
- ・訃報 鉄芳松氏（日本潜水協会会長）が逝去
- ・千葉港 中央地区複合一貫輸送T＝今年度はW T Oで工事促進
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄施設整備＝初弾工事で日の出胸壁改良
- ・室蘭港 祝津絵鞆地区クルーズ＝受入岸壁供用式典開催
- ・東京港 新海面処分場の土砂送泥＝C・Gブロックの埋立工
- ・函館港 西防波堤改良で上部工等＝弁天地区5m岸壁改良も
- ・八戸港 八太郎・河原木地区＝ケーソン製作・航路浚渫等
- ・網走港 新港地区の南防波堤改良＝200m延伸で上部工等
- ・北陸地整 シャーシ管理自動化技術＝全国初の実用精度確認
- ・姫路港 広畑地区臨港道路網干沖線＝橋梁構造形式選定へ予備設計
- ・神戸港 航路附帯施設整備が進捗＝今年度工事で捨石が水切り
- ・神戸港 P C 18 バース耐震改良＝液状化対策を追加
- ・四日市港 霞ヶ浦地区国際物流T＝着工式典を開催
- ・博多港 香椎パークポートC T＝栈橋式岸壁の維持補修工
- ・和歌山下津港 海南地区船尾南護岸他＝直轄海岸保全整備が進捗
- ・日高港 塩屋地区国際物流T事業＝マイナス12m泊地浚渫工事進捗
- ・徳島小松島港 金磯地区水深11m岸壁＝陸側2ブロック改良工事
- ・須崎港 湾口地区防波堤＝基礎工、被覆・根固工等
- ・名瀬港 立神地区沖防波堤改良＝粘り強い化対応工事
- ・埋浚協会 令和4年度定時総会開催＝清水会長「D Xが港湾整備活性化の鍵」
- ・「産直港湾」堺泉北港 農林水産物・食品の輸出促進＝計画認定書授与式を開催
- ・マリーナ・ビーチ協 第51回通常総会開催＝50周年に向け中期ビジョン
- ・千葉県 銚子市沖洋上風力説明会＝県内企業の参入を支援
- ・中部国際空港 航空旅客数140%増に＝今期は約500万人目標
- ・経産省 遊佐町沖洋上風力＝風力部会で環境審査

■令和4年5月23日号（第1787号）

- ・自民党港湾議連 総会開催、緊急要望まとめ＝脱炭素社会へ港湾の整備・振興を
- ・土木学会賞 功績賞に港湾関係で3名＝技術賞（Ⅱ）に横浜港南本牧C T等
- ・国交省 国土審議会計画部会＝中間とりまとめに向け整理

- ・川崎港 臨海部のカーボンニュートラル＝国内最大級官民協議会設立
- ・仙台塩釜港 向洋地区 14m岸壁進捗＝裏埋工事手続き、来年度舗装
- ・関東地整 森橋港空部長就任会見＝「立場で変化する港の風景」
- ・秋田県沖G P S波浪計＝更新設備の製作・据付等
- ・横浜市 横浜港の経済波及効果＝コンテナ・クルーズ船など
- ・母島の沖港 船揚場拡張事業を開始＝撤去工・基礎工・埋立等
- ・細島港 水深9m R O R Oバース＝細部、実施設計等手続き
- ・三島川之江港 水深9m複合一貫輸送T＝金子地区整備効果検討業務等
- ・佐伯港 女島ふ頭 10m耐震岸壁＝来年度に床版など上部工へ
- ・清水港 新興津地区国際物流T＝HBケーソン細部設計等
- ・徳山下松港 下松地区 19m岸壁進捗＝今後はドルフィン部検討へ
- ・松山空港 小型機エプロン新設＝全体で7スポットに拡充
- ・伊万里港 久原南・瀬戸道路改良＝七ツ島工事用棧橋撤去等
- ・宮崎空港 エプロンの耐震改良工事＝スポット7、誘導路舗装
- ・日港連 第39回通常総会を開催＝作業船確保の重要性等
- ・海技協 第36回通常総会を開催＝遠藤技術参事官が講演
- ・筑波大学・あおみ建設 超音波測位システムを開発＝水中で高精度に位置計測
- ・下関港 クルーズ船が3年振り入港＝ぱしふいっくびいなす
- ・阪神港 海上混載輸送試験結果＝コールドチェーン構築が鍵
- ・名古屋港CNP検討会 第6回開催＝形成計画策定に向け議論
- ・東北電力 久慈市沖で浮体式調査＝仏洋上風力大手と共同事業化
- ・青森沖洋上風力 ヴィーナ・エナジー、四電らとコンソーシアム
- ・石狩湾洋上風力（日本風力開発）＝環境省が意見書を提出

■令和4年5月16日号（第1786号）

- ・【港湾空港技術研究所・国土技術政策総合研究所設立60周年特集】
高野港空研所長「60年の蓄積と、その先の港湾・空港技術を目指して」
- ・羽田空港 防災・減災対策を推進＝人工地盤で空港機能等拡充
- ・4年度直轄事業実施方針⑥担い手の育成・確保＝積算基準、低入価格調査基準改訂
- ・全浚 第51回通常総会を開催＝クラブ浚渫船のICT化等
- ・東北地整 第2回相馬港復旧検討会＝復旧方針案など意見交換
- ・港湾局 濱口梧陵国際賞＝5/31まで募集中
- ・港湾局人事（5月1日）
- ・茨城港常陸那珂港区 中央ふ頭水深12m岸壁＝開口部ケーソン細部設計
- ・関東地整 令和4年度事業概要＝東京・横浜・茨城港など
- ・酒田港 北港地区第二北防波堤＝ケーソン製作と基礎工等

- ・北九州港 響灘の洋上風力基地港整備＝年度後半に地耐力強化へ地盤改良
- ・志布志港 新若浜バルクバース＝ケーソン2函の製作
- ・下関港海岸 山陽地区新川水門工事＝取付護岸本体工、上部工等
- ・佐世保港 前畑地区岸壁10m＝取付部改良工事
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業＝ふ頭用地造成に向け裏込工
- ・清水港 外港防波堤改良整備事業＝被覆・根固工を促進
- ・別府港 石垣地区沖防波堤築造＝ケーソン据付、航路浚渫
- ・五洋建設 AIで栈橋の残存耐力評価＝予防保全型の維持管理促進
- ・洋上風力 男鹿市、潟上市、秋田市沖＝秋田県ら、第2回協議会開催
- ・海事局長 国際海運CN取組を評価＝代替燃料の供給など重要
- ・港湾局 みなとオアシス佐田岬＝コロナで2年越しの交付式
- ・日鉄エンジ 海洋部門の取組重点＝「洋上風力を成長分野に」
- ・レノバ ベトナム洋上風力＝PTSC社と協業
- ・横浜港 大黒ふ頭で新航路開設＝自動車運搬機能を再強化
- ・東洋建設人事・機構改革

■令和4年5月2日・9日合併号（第1785号）

- ・エネ庁・港湾局 長崎県五島市沖洋上風力＝戸田建設らの占用計画認定
- ・海事局 国際海運CN官民協議会＝2050年に向け議論展開
- ・4年度直轄事業実施方針⑤担い手の育成・確保＝作業船の損料算定基準を改定等
- ・春の叙勲・褒章 須野原氏ら3名が瑞中
- ・国交省 国土審第9回計画部会＝新たな国土利用の方向性
- ・海技協 登録海上起重基幹技能者＝4年度講習会の受付開始
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄施設整備＝新規着工、細部設計・深淺測量など
- ・東京港 新海面処分場Dブロック＝南護岸の裏埋工へ深淺測量
- ・小名浜港 本港地区第二沖防波堤築造＝基礎工・被覆工・本体工
- ・千葉県 九十九里沖を促進区域へ＝洋上風力関連情報を提供
- ・相馬港 地震被害の応急復旧＝公共岸壁が利用可能に
- ・佐竹秋田県知事 CN宣言で洋上風力加速＝来年度関連港湾4件目指す
- ・那覇港 臨港道路若狭港町線整備＝今年度から海上橋梁基礎
- ・中城湾港 水深11m等泊地の浚渫＝WTOで2件の発注予定
- ・須崎港 湾口地区東防波堤＝粘り強い化対応工事
- ・那覇空港 滑走路改良の仕上げ工へ＝高架道路関連工事も促進
- ・川内港 国際物流ターミナル着工式典開催＝水深12m耐震強化岸壁
- ・北九州港 新門司沖2期土砂処分場＝WTOで東側護岸築造工事
- ・北九州港 西海岸地区水深11m岸壁＝栈橋式改良工事

- ・宮崎空港 RESA用地造成に着手＝防波護岸嵩上げ工事等
- ・蟬蛾ノ瀬戸 航路法面保護改良工事＝直立消波ブロック等本体工
- ・柴山港 二重円筒ケーソン防波堤＝維持方策検討業務手続き
- ・エネ庁 海底直流送電検討会開催＝300m以浅で敷設可能
- ・北九州響灘洋上風力発電 ひびきウインドエナジー＝五洋らが優先交渉者権
- ・石狩湾洋上風力 合同会社が配慮書策定＝縦覧と意見募集を開始
- ・金沢工大 ICC 浮体式垂直軸型の研究＝経産省採択事業の一環で
- ・清水港 農産物の輸出促進＝鮮度保持試験結果まとめ
- ・井本商運 コンテナ船「のがみ」就航＝京浜～阪神～北部九州航路
- ・秋田港 風車タワー事前組立開始＝年末の商業運転開始へ
- ・銚子市ら 発電所設備ドローン点検＝洋上風力分野で今後展開へ
- ・ケイライン・ウインド 洋上風力分野の組織確立＝日本海事協会が認定
- ・東急不動産ほか つがる市・鯨ヶ沢町沖＝洋上風力配慮書縦覧終了
- ・環境省 インベナジーの洋上風力＝村上・胎内市沖で大臣意見
- ・大阪ガス 和歌山県でバイオマス＝御坊市に5万kW発電所
- ・五洋建設人事（5月1日、4月1日）
- ・東洋建設人事（5月1日）

■令和4年4月25日号（第1784号）

- ・森山港湾議連会長 港湾整備の重要性を語る＝雇用や地域活力の創出に寄与
- ・港湾局 国際戦略港湾整備を促進＝5港合計で860億円投入
- ・4年度直轄事業実施方針 ④4週8休以上に成績評定加点＝港湾計画に作業船の係留場所
- ・港湾局 サイバーポートとNACCS＝来年3月連携機能運用へ
- ・港湾局・エネ庁 洋上風力の「有望な区域」＝選定に向け情報受付開始
- ・港湾局人事（4月15日付）
- ・東北地整・福島県 相馬港復旧検討会を開催＝全15バース等復旧方針
- ・関東地整 羽田空港にWTO6件＝エプロン地盤改良や舗装工
- ・敦賀港 鞠山北地区防波堤・護岸＝基礎工・被覆工・消波工
- ・金沢港 大野地区泊地土砂運搬工＝公告2件と見通しを5件
- ・川崎市 総合計画第3期実施計画＝川崎港整備の方向性示す
- ・横浜港大黒ふ頭 P3岸壁の供用を開始＝1400mの連続バース
- ・千葉県いすみ市沖洋上風力＝環境相が配慮書意見
- ・青森県鯨ヶ沢洋上風力＝事業方法書の縦覧終了
- ・衣浦港 水深12m岸壁、臨港道＝事業化に向け事前検討業務
- ・高知港海岸 湾口地区津波防波堤＝海中にケーソン仮置き場

- ・高知港海岸 浦戸湾地区タナスカ工区＝護岸改良工事の手続きへ
- ・徳山下松港 土砂処分場付帯施設工事＝ブルーカーボンを推進
- ・福山港 箕島地区水深 12mバース＝岸壁築造その 2 を予定
- ・日高港 国際物流ターミナル整備事業＝水深 12m泊地浚渫工事
- ・和歌山下津港 本港地区水深 13m泊地＝国際物流 T 対応浚渫工事
- ・中部国際空港 豊田通商と脱炭素で締結＝空港ゼロカーボンを推進
- ・振興会・豊橋市ら 三河港の整備・振興＝愛知県へ要望書
- ・熊本港 水深 10m耐震強化岸壁＝施工検討業務を手続き
- ・国交省 社会資本メンテナンス委＝維持管理の骨子案を議論
- ・沿岸センター 設計士・設計士補試験＝5 月 13 日まで応募受付中
- ・浮体式洋上風力発電推進懇談会 浮体式展望レポート発行＝3 つの提言と世界動向
- ・九州大学・福岡県 企業の洋上風力参入支援＝包括連携協定を締結
- ・東工大 洋上風力の直流送電開発＝動画で研究内容を配信
- ・四国地整 海上タクシーの実証実験＝港湾管理者へ情報一元化
- ・内閣府 衛星データ実証で採択＝洋上風力測定もテーマに
- ・川崎港 世界初 E V タンカー接岸＝給電ステーションが完成
- ・あおみ建設 農業法人を共同設立＝建設ノウハウ活かす
- ・豊田通商 神戸大発調査企業と連携＝洋上風力チェーン構築へ
- ・関西電力 英国洋上風力が発電開始＝参画事業で発電所初稼働
- ・日揮 HD 3 次元風速測定企業に投資＝洋上風力開発促進に寄与

■令和 4 年 4 月 18 日号（第 1783 号）

- ・岸田首相、神戸港を視察＝国際 C T や液化水素実証施設
- ・4 年度直轄事業実施方針 ③契約変更ガイドライン改定＝協議尊重し円滑な手続きへ
- ・国交省 第 3 回ドローン技術検討会＝性能評価で Q F D 採用
- ・J C L P 岸田首相に気候危機意見書＝洋上風力早期拡大を提言
- ・国交省 第 3 回燃料電池等検討会＝水素タンク汎用化へ議論
- ・国交省 国土審第 8 回計画部会＝大都市変革と競争力強化
- ・鹿島港 外港地区の洋上風力基地＝地盤改良工等と中央防波堤
- ・新潟港 西港区土砂処分場整備＝航路浚渫と処分場内土捨
- ・能代港 大森地区洋上風力建設基地＝岸壁の裏埋・地盤改良等
- ・名洗港改訂 洋上風力建設補助や管理＝小型船用 9 バース等計画
- ・加藤国土交通政務官が横浜港視察＝南本牧ふ頭 C T、C N P 等
- ・北陸地整 両津港出張所を新規開設＝議員・視聴招き開所式
- ・室蘭港 祝津絵鞆地区の岸壁改良＝崎守地区の北外防波堤も
- ・横浜港 施設電力を再エネに切替＝Y K I P と Y P C が導入

- ・横浜港 シェアリング研究会＝社会実装への課題対応等
- ・和歌山県 和歌山下津港長期構想案＝外貿コンテナ、ROROR航路強化
- ・鹿児島港 臨港道鴨池中央港区線＝今年度P3、P9下部工へ
- ・神戸港 航路附帯施設整備を促進＝今年度5、6港区で完全締切
- ・下関港 水深12m岸壁で最終函＝長州出島クルーズバース
- ・熊本港 夢咲島地区防波堤南築造＝ケーソン4函据付工事
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁＝試験杭含め本体工事公告
- ・高知港 三里地区防波堤（南）築造＝WTOでケーソン2函他
- ・四国地整 防災エキスパート認定式＝被災情報収集で連携強化
- ・防衛省 馬毛島基地アセス準備書＝係留施設、仮設栈橋等
- ・五洋建設 シンガポールで地下鉄工事＝シールドT・駅舎447億円
- ・日本海事協会 洋上風力余剰電力再利用＝水素製造プラントを承認
- ・A.L.I・丸紅 仙台塩釜港でドローン実証＝運航管理の実用性を立証
- ・日立エナジー 洋上風力製品の提供開始＝浮体式等「OceaniQ」
- ・住友商事ら 再エネ2号ファンド設立＝洋上風力用第1号に続き
- ・伊藤忠商事 海外含め港湾協議会発足＝アンモニア利用を加速化
- ・港湾局 運転港の直轄管理期間＝5月9日まで1か月延長
- ・環境省 佐賀県唐津市沖洋上風力＝配慮書意見を提出
- ・日建連 「啓発標語」を一般募集＝海洋工事の船舶安全運航
- ・JAPEXら 田原市でバイオマス＝出力5万KW発電所建設
- ・前田建設工業ら 愛媛県大洲市でバイオ発電＝24年8月運転開始予定

■令和4年4月11日号（第1782号）

- ・港湾局 港湾工事の契約変更事務＝ガイドライン改定を発表
- ・港湾局 国際クルーズ受入高度化＝4年度事業実施港を決定
- ・国交省 第3回ドローン技術検討会＝飛行申請マニュアル案作成
- ・国交省 安心安全なクルーズ寄港＝地域活性化等へ事業支援
- ・港湾局 港湾施設の点検技術＝診断効率化、追加募集中
- ・国交省 ICT等普及へ取組強化＝基準要領の制定・改定等
- ・国交省 国土審議会計画部会＝大災害対応の方向性検討
- ・国交省 海洋周辺地域訪日観光＝7事業を決定
- ・港湾局人事【事務官】（4月1日）
- ・横浜港 本牧地区D5T改良工事＝WTOで地盤改良、本体工
- ・横浜港 新本牧ふ頭国際海上CT＝WTOでケーソン5函
- ・横浜港 新本牧地区水深18m岸壁＝WTO対象の地盤改良工
- ・川崎市ら 京浜臨海部に水素拠点＝異業種連携で形成を加速

- ・北海道局 国土審議会第1回計画部会＝第9期の開発計画策定へ
- ・茨城港・鹿島港 CNP形成計画案を策定＝推進へサブワーキング設置
- ・小名浜港 CNP検討会とりまとめ＝福島県が形成計画策定へ
- ・新潟港 CNP検討会まとめ＝協議会設置と個別課題対応
- ・八戸港 八太郎・河原木地区＝土砂処分場のC・D工区
- ・酒田港から米国へ日本酒初輸出＝地元で初出荷記念の鏡開き
- ・広島港 出島地区CT第2バース＝地盤改良工事から先行へ
- ・八幡浜港 新フェリーターミナル供用開始＝耐震強化岸壁、防災拠点
- ・唐津港 予防保全で妙見地区改良＝スリット式直立ブロック
- ・兵庫県 姫路港CNP官民連携会議＝形成計画策定に向け始動
- ・荻田港 CNP形成の方向性公表＝脱炭素化と水素受入整備
- ・堺泉北港 汐見沖地区水深12m岸壁＝国際物流T整備の初弾工事
- ・大阪港 大正内港地区岸壁改良＝老朽化対策工事
- ・博多港 箱崎ふ頭の岸壁改良＝予防保全事業で2件
- ・宇部港 本港地区航路整備事業＝水深13m浚渫工事手続き
- ・国交省 海外インフラ技術者表彰＝大臣賞、奨励賞を授与
- ・国交省 ドローンが拓くDXの未来＝交通運輸技術フォーラム開催
- ・国交省 インフラ分野のDX＝アクションプランを策定
- ・各社トップの入社式訓示
- ・RSO アートによるみなとまち＝第3回フォーラム開催
- ・三井住友海上 洋上風力保険の事業化へ＝ケーブルなど事故の予知
- ・九州大学 洋上風力センターを開設＝発電、送電等幅広く研究
- ・三井物産 ノルウェーGと連携拡大＝海外再エネ企業へ出資決定
- ・グリーンパワー いすみ市沖洋上風力＝配慮書縦覧開始
- ・日本風力エネルギー 青森沖洋上風力＝方法書縦覧・意見募集
- ・八峰町・能代市沖洋上風力（JERA）＝環境大臣が意見提出

■令和4年4月4日号（第1781号）

- ・港湾局人事 加藤技総審、魚住防衛審議官＝田中審議官、小池大阪航空局長
- ・4年度直轄事業方針 ②港湾工事の請負代金のあり方＝適正利潤確保へモデル工事
- ・港湾局 令和4年度予算配分公表＝港湾整備に2399億円
- ・羽田空港 利便性確保へ重点投資＝軌道アクセスや人工地盤
- ・北陸地整・新潟県 両津港南埠頭再編事業＝着工式典を開催
- ・北陸地整・新潟県 新潟港CNP検討会＝広域連携輸送WG立上げ等
- ・稚内開建 稚内港北防の改良工＝宗谷港では物揚場
- ・鹿島港振興協会 鹿島港セミナーを開催＝講演と港湾最新トピック

- ・北九州港 CNP形成計画素案策定＝LNG拠点検討会も開催
- ・石垣港 クルーズ関連施設整備＝防波堤や土砂処分場等
- ・平良港 22万t級クルーズバース完成＝防波堤や土砂処分場等
- ・近畿地整 「国際物流戦略チーム」本部会合＝強靱な物流ネットワーク構築を
- ・中国地整 広島で海の再生全国会議＝新たな瀬戸内海の創出へ
- ・沖総局 CNP懇談会とりまとめ＝中城・金武港を輸入拠点
- ・沖総局 運天港軽石を埋立処分へ＝浚渫土砂と混合し活用
- ・名古屋港 第5回「CNP検討会」＝基本構想案をとりまとめ
- ・津松阪港海岸 海岸保全施設整備事業＝阿漕浦・御殿場で本土工
- ・国交省 第3回燃料電池等検討会＝水素タンクの実装化議論
- ・国交省 国土交通技術基本計画＝第5期策定に向け最終議論
- ・東亜建設工業 横浜市に絵本寄贈＝市が感謝状交付式
- ・日立造船 海底設置型フラップゲート水門＝福良港への据付工事完了
- ・海事局長 漁港で安全キャンペーン＝ウクライナ港湾での対応
- ・新潟県 村上市・胎内市沖洋上風力＝第2回協議会で情報収集
- ・関西電力 脱炭素ロードマップ＝洋上風力中心1兆円
- ・日造・鹿島 洋上風力「ハイブリッド浮体」＝NEDOから研究受託
- ・港湾局 サイバーポート機能改善＝コリンズとの連携を拡充
- ・日本郵船 海外企業にCTV裸備船＝先行知見得て国内展開へ
- ・丸紅 英エネ企業子会社と締結＝洋上風力でパートナー契約
- ・松山港湾・空港整備事務所 「いしづち」の活動を学ぶ＝地元高校生が海環船勉強会

■令和4年3月28日号（第1780号）

- ・洋上風力 公募占用指針を再変更＝3海域の公募結果を総括、合同会議で方向性確認へ
- ・港湾局・エネ庁 八峰町・能代市沖洋上風力＝事業者公募要件を見直し
- ・港湾局 第4回技術検討委員会＝気候変動の適応策実装へ
- ・港湾局 4年度直轄事業実施方針＝①新しい資本主義の実現へ
- ・港湾局 賃上げ加点制度のQ&A＝ホームページで公開開始
- ・航空局 航空分野の脱炭素化推進＝航空法一部改正を閣議決定
- ・スマートエネルギーWeek 春 洋上風力、バイオマス等＝欧州企業多数出展、機運示す
- ・羽田空港 アクセス鉄道の開削部＝ECI方式で事業実施へ
- ・敦賀港 CNP勉強会を開催＝協議会発足へ情報共有
- ・苫小牧港 汐見地区物揚場建設工事＝東防波堤改良と航路浚渫
- ・函館港 若松地区泊地浚渫工事＝浚渫土砂で西防波堤改良
- ・阿古漁港 水深7.5m岸壁幅拡充＝緊急輸送対応で改良工事
- ・新潟技調 自動係留装置検討委開催＝来年度敦賀港で実証試験

- ・港湾局 みなとオアシス金沢港＝全国 153 箇所目
- ・北九州港 響灘の洋上風力基地整備＝岸壁取付部や背後埋戻工
- ・熊本港 水深 10m 岸壁の整備を＝利活用促進検討会、RORO やコンテナ需要
- ・広島空港 R E S A 4 年度に擁壁築造等工事＝5 年度に土地造成工予定
- ・尾道糸崎港 百島海老呑地区干潟整備＝SCP で海上地盤改良
- ・蟬蛾ノ瀬戸航路 航路法面保護改良工事＝開発保全航路の維持
- ・八代港 大築島土砂処分場＝A 護岸地盤改良工事
- ・清水港 長野で農産物輸出セミナー＝横断道開通で取組みを強化
- ・港湾局 みなとオアシス大崎上島＝全国 154 箇所目
- ・ブルーカーボン クレジット証書を交付＝3 活動で 470 万円譲渡
- ・風力発電協会 経産省・国交省に提言＝事業者選定基準など
- ・東京湾再生フォーラム 未来交流会 2022 開催＝東京湾法（仮）議論検討を
- ・九電みらいエナジー 1000kW 級潮流発電＝環境省実証事業に採択
- ・日本気象協会 情報提供で洋上風力支援＝風力 A P I サービス追加
- ・商船三井 海上作業訓練の事業化へ＝洋上風力特殊船等に貢献
- ・Y K I P 横浜港利用促進セミナー 4 / 8 までオンデマンド
- ・五洋建設人事（4 月 1 日）

■令和 4 年 3 月 21 日号（第 1779 号）

- ・港湾局 請負工事の適正利潤確保＝現場費割増モデル工事創設
- ・港湾局 基地港湾検討会取りまとめ＝配置、規模、地域振興指針等
- ・港湾局 港湾工事の契約変更事務＝ガイドラインを改定
- ・ポート・オブ・ザ・イヤー 2021 川内港が受賞＝日本港湾協会、表彰式開催
- ・日米 C N P ワークショップ＝緊密な協力関係構築へ合意
- ・東京湾再生フォーラムが政策提案＝第 3 期行動計画を推進会議に提出
- ・みらい建設工業 新社長に石橋常務＝小西社長は会長に
- ・港湾局 運天港の一部管理を延長＝一か月延長で 4 月 9 日迄
- ・茨城港常陸那珂港区 事業評価関連業務手続き＝中央ふ頭水深 15m 岸壁も調査
- ・石狩湾新港 北防波堤の延伸事業＝上部工と消波ブロック撤去仮置
- ・北陸地整 みなとオアシス金沢港＝杉野次長が登録証交付
- ・関東地整 第 2 回多摩川環境検討会＝磯浅羽の実証結果を報告
- ・千葉港湾事務所 「べいくりん」が就役＝清掃兼油回収の新造船
- ・徳山下松港 水深 19m 岸壁で A ジャケット＝徳山地区 14m 岸壁も進捗
- ・大分港 大在西地区複合一貫ターミナル＝9 函のケーソン据付工事
- ・三重県 4 年度港湾事業 10 億円＝四日市港の岸壁整備など
- ・油津港 港湾計画を一部変更へ＝RORO 大型化に対応

- ・名瀬港本港地区水深 7.5m岸壁＝幹線貨物耐震バースに変更
- ・細島港 水深 9m ROROバース＝4年度新規事業に採択へ
- ・高知港海岸 第15回自身津波技術検討会＝桂浜、タナスカ等最終検討
- ・名古屋港 金城ふ頭 85号岸壁改良＝ふ頭再編、予防保全事業
- ・大分港海岸 津留地区北護岸改良＝鋼矢板による本体工
- ・美保飛行場 エプロンの老朽化対策＝4番スポット対象に手続き中
- ・下関港海岸 長府・壇ノ浦地区海岸整備＝7工区護岸工事の手続き
- ・水産庁 漁港漁場整備基本方針等＝水産政策審議会が答申
- ・ピア研 海の上を歩く英国の栈橋＝写真交えフォーラム開催
- ・ブルーカーボン 釧路港島防波堤での藻場＝CO₂貯蔵効果を確認
- ・IRweb 現場見学会を開催＝横浜港国際海上CT整備等紹介
- ・土木学会・PIANC 技術基準の国際化セミナー＝質の高いインフラ海外展開
- ・三菱重工業 CTV用推進装置を開発＝洋上風力建設等に貢献
- ・商船三井 アジア発新造SOV竣工＝台湾海運大手と共同開発
- ・商船三井ら 台湾の洋上風力に参画＝豪運営企業に出資を開始
- ・若築建設人事
- ・みらい建設工業人事

■令和4年3月14日号（第1778号）

- ・港湾局 第84回港湾分科会開催＝中城湾港改訂などを了承
- ・港湾局 新規事業評価部会で答申＝苫小牧港・広島港・細島港等
- ・CNP政策 阿達雅志参院議員が質疑＝斉藤国交大臣、萩生田経産大臣が支援述べる
- ・航空局 航空分科会基本政策部会＝脱炭素化への取組など議論
- ・国交省 国土審議会計画部会開催＝2050年国土像と港湾
- ・港湾局 LNG拠点事業を採択＝九州・瀬戸内の建造船事業
- ・みなと総研 「未来のみなとづくり」＝令和4年度助成募集中
- ・千葉港海岸直轄保全事業＝4年度着工事業として採択
- ・名洗港 3月に港湾計画を改訂へ＝洋上風力発電支援基地機能
- ・横須賀市 横須賀港長期構想を策定＝新港地区新規ふ頭整備等
- ・横浜港 新本牧ふ頭マイナス18m岸壁＝取付部地盤改良工事
- ・横浜港 本牧地区D5ターミナル改良＝本体工、地盤改良工等
- ・茨城港・鹿島港 第4回CNP形成計画WG＝「形成計画案」提示し議論
- ・追直漁港 外防波堤の築造工事＝上部工と胸壁工を施工
- ・北開局・港湾建設業団体 研究会第2回会合開催＝3年度研究成果報告等
- ・宮城県 令和4年度予算案公表＝仙台塩釜港CNPなど
- ・広島港 出島地区CT機能強化を新規＝暫定延長150mで早期供用

- ・中城湾港 改訂計画を分科会で了承＝RORO受入強化へふ頭再編
- ・大阪港 北港南地区浚渫事業＝C10 前面と武庫川河床で
- ・浜田港 福井地区内防波堤撤去＝堤頭ケーソン撤去工事等
- ・近畿地整 京阪港CONPAS導入検討会＝利用料金は受益者負担
- ・静岡県 4年度の港湾整備予算案＝清水港等事業に76億円
- ・福岡県 令和4年度予算案を公表＝苅田港と三池港の整備等
- ・ブルーカーボン 第3回検討会で年間試算＝CO2吸収量5～14万t
- ・国交省 防波堤上を飛ぶドローン＝川崎港で飛行撮影を実証
- ・経産省 JOGMEC法閣議決定＝洋上セントラル方式確立へ
- ・国交省 i-Con大賞授与式開催＝22団体の取組みを表彰
- ・あおみ建設 国交省が現場見学会開催＝オーガー式SD工法で成果
- ・東北地整 広域港湾防災対策協議会開催＝港湾BCPの実効性向上へ情報共有
- ・商船三井 洋上風力投資組合を設立＝100億円規模の運用へ
- ・日本風力開発 石狩湾洋上風力発電事業＝配慮書縦覧と意見募集開始
- ・五洋建設人事・機構改革（4月1日付）
- ・東亜建設工業人事（4月1日付）

■令和4年3月7日号（第1777号）

- ・港湾分科会 基地港湾指定に向け議論＝港湾計画との整合性など
- ・国交省 川崎港でドローン講習会＝利活用検討会の議論を実証
- ・東洋建設 海底ケーブル敷設船建造＝浮体式風力の建設も視野
- ・国交省 i-Con大賞発表＝優秀賞に本間組など
- ・九州地整ら 海域港湾空港技術報告会＝最新の技術動向を共有
- ・国交省 ICT施工の普及拡大＝書類簡素化や人材育成等
- ・国交省人事（3月1日付）
- ・羽田空港 新年度に共同溝の改良工事＝JRシールドトンネルで切り回し
- ・鹿島港 洋上風力基地の岸壁整備＝4年度に地耐力地盤改良へ
- ・横浜港・川崎港 CNP形成推進会議報告＝4年度以降の取組とWGの動き
- ・秋田港 外港地区の第二南防波堤＝本体工ケーソン2函製作
- ・新潟港 西港地区航路泊地付帯施設＝北護岸と中仕切堤の整備
- ・酒田港 CNP形成方針を公表＝洋上風力等港湾機能充実
- ・北開局 令和4年度事業計画＝釧路港西港区国際ターミナルなど
- ・福岡空港 南側区域の滑走路新設工へ＝WTO2件の造成を手続中
- ・三池港 内港地区航路水深10m＝航路浚渫工事の手続き開始
- ・近畿地整ら 深日港洲本港航路再生＝第7回連携協議会開催
- ・神戸港 検討会による取りまとめ＝CNPロードマップ公表

- ・徳山下松港 第5回CNP検討会＝下部に3WGの設置決定
- ・北九州港 第3回CNP検討会概要＝臨港地区に特区設置提案
- ・名古屋港 新土砂処分場護岸着工＝現場説明会を開催
- ・大阪港湾局 4年度港湾に111億円＝防災強化やCNPなど
- ・JOPCA 第10回研究会を開催＝港湾インフラ技術の輸出など
- ・港コン協 港空研、国総研と意見交換＝CNPなど最近の動き説明
- ・海事局長 洋上風力への支援策2点＝重量物輸送と作業船運航
- ・港湾空港技術振興会 令和3年度特別講演会＝研究所トップらが講演
- ・土木学会 インフラメンテナンス賞＝羽田D滑走路等受賞決定
- ・鹿島建設 国内3件の洋上風力参画＝蘭社と共同で建設工施工
- ・インベナジー・ウインド 新潟村上市・胎内市沖＝洋上風力配慮書縦覧開始
- ・清水港 農産物鮮度保持試験＝30日経過後の果物対象
- ・下関港湾協会 70周年記念式典開催＝下関市長らが祝辞
- ・日本・インドビジネスセミナー＝環境、港湾・物流分野のSDGs
- ・あおみ建設人事（3月1日付）

■令和4年2月28日号（第1776号）

- ・浅輪港湾局長 CNP・洋上風力取組み＝「プラン策定後の作業が重要」
- ・港湾局・大臣官房 第4回i-Construction推進委＝ICT施工やBIM/CIM
- ・港湾局 基地港湾の必要数を提示＝2030年までに7～9港
- ・国交省 国土審議会計画部会＝関係人口と地域連携模索
- ・東亜建設工業 新社長に早川氏（現・大阪支店長）＝秋山社長は会長に
- ・伊万里港 七ツ島地区臨港道路橋梁＝「七ツ島大橋」に名称決定
- ・港湾局人事（2月21日付）
- ・鹿島港 外港地区の航路・泊地浚渫＝土砂は基地港湾造成に利用
- ・八戸港 八太郎・河原木地区＝土砂処分場ケーソン据付
- ・釧路港 西港区護岸と東港区防波堤＝ケーソン据付・製作等
- ・北陸地整 第2回インフラDX会議＝港湾部会の遠隔臨場報告
- ・小名浜港 第7回CNP検討会＝3月に取りまとめ公表へ
- ・川崎市 令和4年度予算案を公表＝港湾局関連で163億円
- ・山形県 港湾長寿命化に1.5億円＝酒田港の基地港湾化推進
- ・石狩湾新港管理組合 令和4年度予算案
- ・備讃瀬戸航路 水島航路交差部浚渫工事＝4年度工事の手続き開始
- ・宮崎港 南防波堤粘り強い化＝3件の被覆ブロック工事
- ・苅田港 南港地区第2南防波堤＝L方ブロック等製作据付
- ・四日市港 霞ヶ浦地区国際物流ターミナル着工＝三重県知事らがコメント

- ・清水港 遠隔操作R G初号機＝働き方改革に向け試運転
- ・下関港海岸 山陽地区護岸改良事業＝宮崎水門の整備着手
- ・神戸市 4年度予算で新規C N P＝国際コンテナ整備には107億円
- ・四日市港 霞ヶ浦地区W24岸壁＝栈橋上部工下面補修等
- ・洋上風力 長崎県五島市沖協議会＝9月から海上工事等説明
- ・山形県 酒田沿岸域検討部会開催＝洋上風力導入へ協議開始
- ・海産研 洋上風力テーマに研究会＝浮体式の課題と期待など
- ・横浜技調 第11回技術交流会開催＝温暖化対策、D X技術等
- ・東洋建設・商船三井 洋上風力関連作業船＝事業化に向け協議開始
- ・港空研 高波発生状況を公開＝岸壁の越波浸水状況再現
- ・四日市港 令和3年度セミナー開催＝R C E P本格始動へ
- ・東亜建設工業人事

■令和4年2月21日号（第1775号）

- ・国交省 賃上げ企業への加点措置＝柔軟対応を各地整に発出
- ・国交省 水素・燃料電池の検討会＝規格化等の方向性を了承
- ・港湾局 国際クルーズ受入高度化＝補助事業の公募を開始
- ・ワン・オーシャン・サミット フランスで開催＝脱炭素に向け共同声明
- ・港湾局 運天港一部管理期間延長＝軽石対策で3月9日まで
- ・港湾局・海事局 クルーズ船支援公募開始＝地域不安解消や商品開発
- ・港湾局・海事局 訪日観光支援事業を公募＝良質ツアーや環境整備
- ・伏木富山港 新湊地区水深14m岸壁築造＝2号岸壁の最終区間本体改良
- ・東京湾口航路 第二海堡の護岸改良整備＝北側を暫定断面で築造へ
- ・北陸地整 港湾B C P協議会開催＝新たな改訂案について議論
- ・北海道開発局 第6回事業審議委員会＝港湾3事業等を妥当判断
- ・函館港 若松地区の泊地浚渫等＝土砂は西防波堤改良に利用
- ・石狩湾新港管理組合 令和3年貨物量速報
- ・北九州港 響灘の洋上風力基地港湾＝4年度に取付部、裏埋工等
- ・関門航路 大関戸～早鞆瀬戸地区＝浚渫工事2件の手続き
- ・高知港 三里地区防波堤（南）延伸＝ケーソン据付工事を公開
- ・岩国港臨港道路 3号橋2径間架設工等＝擁壁工等2期区間が進捗
- ・衣浦港 外港地区国際物流ターミナル整備＝航路拡幅でケーソン撤去
- ・北九州港 新門司沖2期土砂処分場＝護岸築造、地盤改良進捗
- ・下関港海岸 山陽地区護岸改良工事＝宮崎水門の整備着手
- ・大阪港湾局 大阪みなとC N P検討会＝3部会設置、9月案作成
- ・水産庁 漁港漁場整備分科会開催＝漁港長期計画来月答申へ

- ・東洋建設 ポンプ浚渫施工管理システム＝熟練工の運転技術を学習再現
- ・中部地整 防災ネットワーク連絡会議を設置＝第1回会合を開催
- ・日本郵船 秋田県と包括的協定締結＝洋上風力で秋田支店開設
- ・東芝 事業戦略で洋上風力参入＝2030年売上880億円目指す
- ・ダイヘンら ワイヤレス充放電実証実験＝船舶電動化に向けての試み
- ・東洋建設 新作業着はSDGsに貢献
- ・名古屋港管理組合 中期経営計画2023改訂＝事務事業にCNP等追加
- ・愛知県 4年度港湾整備113億円＝ふ頭整備やCNP調査費
- ・福島県 令和4年度の港湾整備＝予算案で8億円を計上
- ・沖縄県 令和4年度予算案公表＝港湾・漁港に28億円

■令和4年2月14日号（第1774号）

- ・港湾局・航空局 契約ガイドライン改定＝請負金額モデル工事創設も
- ・国交省 運輸分野の水素・燃料電池＝第2回検討委、容器の規格化や充填手法等
- ・港湾局・エネ庁 洋上風力の促進区域指定＝地方の情報提供受付開始
- ・港湾局 CNP形成計画策定マニュアル＝港湾管理者向け説明会
- ・国交省 都市再生緊急整備＝国際物流拠点の高度化へ
- ・広島港振興協会 令和3年度広島港セミナー＝出島CTの整備状況など
- ・関東地整 第3回横浜・川崎港CNP＝令和4年度以降の取組確認
- ・鹿島港洋上風力セミナーを開催＝国の取組みと展望を公園
- ・久慈港 WTOでケーソン2函製作＝防波堤据付部の基礎捨石工も
- ・小樽港 本港地区岸壁と北防波堤＝改良工事で手続き開始
- ・相馬港 本校地区沖防波堤（改良）＝消波工事（その2）手続き
- ・川崎市 川崎CNコンビナート＝構想案の意見募集を開始
- ・東京湾 木更津港沖の浅場造成工＝WTOの手続き開始
- ・那覇港 臨港道路若狭港町線＝4年度から現地工事着手
- ・北九州空港3000m化 技術検討委開催、今回にも準備書手続きへ
- ・水島港 水島玉島航路で初弾工事＝玉島地区航路水深12m
- ・鹿児島港 谷山二区岸壁予防保全＝岸壁背後の地盤改良等
- ・田子の浦港 港口部ポケット整備＝中央航路保全事業推進
- ・佐世保港 前畑地区10m岸壁改良＝床版据付等上部工を実施
- ・和歌山下津港 北港防波堤（南）延伸＝HBケーソン2函製作
- ・巖原港 巖原地区北防波堤改良工＝基礎工、被覆工手続き
- ・神戸市 神戸港港湾BCP～感染症対策編～策定
- ・東洋建設 マルチバケット水槽実験公開＝鳴尾研究所、大型洋上風車対応目的

- ・東亜建設工業 技研開発センター、Ⅱ期整備＝将来見据え環境分野強化
- ・神奈川大学 海とみなと研究所設立＝港湾都市横浜で産学連携
- ・MOPA 室蘭洋上風力フォーラム 2022＝基地港や関連産業の誘致目指す
- ・日本郵船 洋上風力電力を海上輸送＝パワーエックス社と協業
- ・日立造船 福山市のバイオ発電受注＝建設工事と運営にも参画
- ・JERA 八峰町・能代沖洋上風力＝計画段階配慮書の縦覧開始
- ・千葉県 いすみ市沖協議会が発足＝洋上風力第1回会合開催
- ・千葉県 令和4年度予算案を公表＝港湾事業には63億円
- ・広島市 令和4年度当初予算案＝港湾整備に10億円

■令和4年2月7日号（第1773号）

- ・国土交通省 4月から賃上げ加点制度＝各地整で順次詳細公表
- ・港湾局 港湾・空港工事のあり方＝第4回検討会、適正な請負代金等
- ・港湾局 第12回海外港湾協議会＝国際展開へ官民意見交換
- ・「駿河湾スマートオーシャン」 議員連盟が発足、産学官で海洋活用
- ・東京都 都知事に長期構想を答申＝第9次港湾計画策定始動
- ・国土交通省 国土審議会第4回計画部会＝DX国土計画と地方創生
- ・東京港 中防外Y3国際コンテナ＝試験杭打設工事の手続き
- ・羽田空港 仮切り回し通路を築造＝京急駅引上工事で動線確保
- ・釧路港 西港区新西・島防波堤＝上部工・胸壁工・浚渫工
- ・八戸港 消波・被覆ブロックなど＝ケーソン基礎に向け製作
- ・青森港 沖館地区13m・10m岸壁＝鋼管杭打設等工事手続き
- ・石狩湾新港 北防波堤と12m岸壁＝ケーソン1函据付など
- ・東京都 島しょ無電柱化整備計画＝18港5空港、2030年代完了
- ・名古屋港 新土砂処分場護岸整備＝西I工区WTO工事2件
- ・福岡空港 北側区間は最終段階に＝滑走路・誘導路、今後は南側エリア整備
- ・近畿地方整備局 大阪湾BCP推進協議会＝舞鶴港広域連携課題整理等
- ・三河港 神野地区防波堤北築造工＝ケーソン製作と本体工等
- ・八代港 大築島土砂処分場護岸＝基礎・被覆工2件手続き
- ・指宿港海岸 突堤（大山崎）の基礎工＝南離岸堤初弾工事手続き
- ・広島港海岸 直轄海岸改良事業＝中央西地区吉島改良進む
- ・博多港 輸出促進セミナー開催＝各社取組み事例を紹介
- ・馬毛島基地 土地造成、管制塔建屋等＝熊本防衛支局工事公告、アセス後現地に
- ・宮崎県港湾セミナー開催＝宮崎・油津・細島港利用促進
- ・あおみ建設 3D海上地盤改良見える化＝八代港土砂処分場で試験運用
- ・経済産業省 八峰能代沖の洋上風力＝風力部会でJRE事業審査

- ・ 港空研・国総研 港湾空港技術講演会＝カーボンニュートラル最新動向
- ・ 神戸港 第6回CNP検討会＝ロードマップ案議論
- ・ 海事局長 ガス燃料タンクの内製化＝3年度補正で事業採択
- ・ 大阪港 夢洲CT初CONPAS＝コンテナ動作を試験確認
- ・ レノバ 佐賀県唐津市沖洋上風力＝配慮書の縦覧を開始
- ・ 秋田港 洋上風力部材を搬入＝春から風車据付へ
- ・ 東京都 令和4年度予算案を公表＝港湾DX補助金制度創設
- ・ 横浜市 令和4年度予算案を公表＝国際コンテナ港湾に275億円
- ・ 四国地整 第3回CNP形成勉強会＝水素SCに向けた取組等

■ 令和4年1月31日号（第1772号）

- ・ 自民党港湾議連総会開催＝脱炭素化、港湾法一部改正を確実に
- ・ 港湾局 第3回気候変動技術検討委＝マスタープラン等検討へ
- ・ 港湾局・エネ庁 東北の洋上風力有望区域＝3地区で第1回協議会開催
- ・ 港湾局 第1回港湾工事CO2＝今年度末にガイドライン
- ・ 国交省ら表彰 インフラメンテ大賞＝リプレイサブル床版等受賞
- ・ 国交省 ドローン技術検討会＝実証踏まえマニュアル化等
- ・ 羽田空港 アクセス鉄道の基本設計＝京急駅引上は日本工営JV
- ・ 秋田港 南防波堤と第二南防波堤＝築造とケーソン据付・製作
- ・ 苫小牧港 第1回CNP検討会開催＝北海道初の脱炭素立上げ
- ・ 千葉港 葛南中央地区付帯施設等＝岸壁と航路防泥柵の改良
- ・ 茨城港 外港地区東防波堤本体工＝ケーソンのFD製作1函
- ・ 天塩港 ケーソン据付と航路浚渫＝西防波堤の延伸整備
- ・ 横浜港 新本牧で土質調査＝岸壁、中仕切堤予定地で
- ・ 福山港 箕島地区水深12m岸壁＝築造の初弾工事手続き開始
- ・ 九州地整 馬毛島のECI業務5件＝仮設栈橋と滑走路本体対象
- ・ 佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝ジャケットの製作・据付工
- ・ 夢洲CT物流交通懇談会＝港湾関係者らが意見交換
- ・ 徳山下松港 徳山地区水深14m岸壁＝延長部110mの築造工
- ・ 清水港 富士見地区岸壁改良＝鋼管杭打設等工事手続き
- ・ 舞鶴港 和田ふ頭地区第2B＝SCP地盤改良工事
- ・ 高松港・空整備事務所 海上コンテナの役割試算＝年間194億円の経済効果
- ・ NEDO 洋上風力低コスト化事業＝4項目、研究開発で採択
- ・ 東洋建設ら NEDO事業採択で継続＝TLP方式浮体式開発へ
- ・ 東電RP 3事業でNEDO採択＝スパー浮体・メンテなど
- ・ 東亜ら4社 NEDO浮体式風力技術＝量産化及びコスト低減

- ・東京ガス 洋上風力低コスト化事業＝米浮体式企業と出資連携
- ・商船三井 豪の波力開発企業へ出資＝洋上風力との一体化構想
- ・農林水産省 漁港整備の基本方針素案＝新規長期計画3月に答申
- ・原子力産業協会 脱炭素化に原発再稼働を＝新增設・リプレース期待
- ・横浜港・神大 包括連携協定を締結＝実業活性化で人材を育成
- ・伊藤忠商事 山形県飽海郡遊佐町沖＝洋上風力配慮書縦覧開始
- ・環境省 秋田県八峰町と能代市沖＝洋上Wファームに意見書

■令和4年1月24日号（第1771号）

- ・国交省港湾局 重要港湾管理者主幹課長会議＝港湾の発展が国を元気に
- ・港湾局・エネ庁 第10回洋上風力合同会議＝環境調査を政府一元実施
- ・港湾局 リモートセンシング活用＝被災地把握、年度内に指針まとめ
- ・国交省 ドローン利活用技術検討会＝マニュアル化へ実証試験予定
- ・港湾局 サイバーポートに新機能＝即座に超過保管料等紹介
- ・国交省港湾局 Mビームクラウド開発中 測量結果をリアルタイム確認
- ・能代港 洋上風力の建設基地岸壁＝大森地区で地耐力強化
- ・酒田港 北港地区北防波堤と第二＝ケーソン据付と消波工等
- ・小名浜港 WTOでケーソン2函等＝東港地区第二沖防波堤
- ・久慈港 ケーソン3函の製作工等＝補正で湾口防波堤北堤促進
- ・両津港 湊地区岸壁地盤改良工＝初弾工事の手続きを開始
- ・東京港 新海面処分場Dブロック＝都港湾局、西・南側で遮水・裏埋
- ・仙台塩釜港 向洋地区水深14m岸壁＝WTO上部、裏込・裏埋工
- ・仙台塩釜港 石巻港区南防波堤＝来年度工事に向け手続き
- ・令和3年度補正予算 港別予算と事業概要（港湾事業・海岸事業）
- ・神戸港 附帯施設2次捨石を促進＝新年度に5、6工区予定
- ・大阪港 北港南地区航路・泊地浚渫＝航路附帯施設は最終締切工へ
- ・和歌山下津港 新年度にケーソン2函製作＝北港防波堤（南）を延伸
- ・松山港 13m岸壁延伸へ準備＝仮設工事の手続き開始
- ・和歌山下津港 防波堤（外）上部改良＝越波防止や強靱化など
- ・和歌山下津港海岸 日方水門関連工事予定＝両サイドの取付部護岸工
- ・中部国際空港ら 将来構想の意見募集開始（2月16日まで）
- ・西之表港 来年度着工へ細部設計等＝複合一貫輸送ターミナル
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震化へ地盤改良工事
- ・別府港 石垣地区防波堤整備＝基礎捨石1万9千m³
- ・四日市港 霞北ふ頭国際物流ターミナル＝R4年度地盤改良工
- ・高知港海岸 湾口地区改良工事＝堤防本体工、洗掘防止工等

- ・津松阪港海岸 阿漕浦・御殿場で本体工＝堤防改良事業整備進む
- ・衣浦港 中央ふ頭西地区岸壁＝棧橋の梁、杭頭修復工事
- ・衣浦港 外港地区高潮防波堤改良＝上部工嵩上げ工事
- ・北海道の洋上風力 基地港湾形成で情報交換＝港湾管理者、発電事業者参加
- ・経済産業省 洋上風力2地区の環境審査＝西海江島沖と鹿島港
- ・鹿嶋市 洋上風力推進委員会設置＝講演含め第1回会議開催
- ・中部社研 21年度航空・空港講演会＝中部国際空港の在り方
- ・東京港 第9次港湾計画の長期構想＝物流機能強化、1月31日に最終答申
- ・中部地整 第12回港湾技術講演会＝次世代油回収装置等
- ・東北地整 第6回小名浜港CNP＝次世代エネ供給計画案等
- ・NTT西日本ら 夢洲CTでローカル5G＝港湾業務の効率化実証
- ・関電・電源開発 世界最大級英国洋上風力＝風車試験完了で本年稼働
- ・豊田通商ら 名古屋港・小名浜港で＝CNP形成に向け調査開始
- ・港湾局 運転港の一部管理を延長＝「軽石除去」を追加明記
- ・国総研・港空研 港湾空港技術講演会（1/31）＝脱炭素化の実現テーマ

■令和4年1月17日号（第1770号）

- ・斉藤鉄夫国土交通大臣 新春のご挨拶
- ・港湾局・エネ庁 秋田と千葉の3促進区域＝洋上風力事業者を選定
- ・港湾局 第4回基地港湾検討会＝風車大型化への対応必要
- ・青森県 第2回青森県沖協議会＝環境影響・風車の安全性等
- ・港湾局 「みなとオアシス下田」＝全国152か所目に登録
- ・横浜市・神奈川大学 横浜港の強化で協定締結＝「海とみなと研究所」設立
- ・北陸地整次長に杉野氏＝港湾局人事（1月14日付）
- ・関東地整 東京湾航行支援協議会開催＝新たに「風水害編」を策定
- ・横浜市港湾局 内港地区と山下ふ頭再開発＝民間事業者意見募集開始
- ・北開局 港湾関係事業174億円＝苫小牧港ターミナル整備等
- ・苫小牧港 真古舞地区岸壁と東防波堤＝4年度完成へ上部工など
- ・東京都 波浮港東防波堤の建設＝ケーソン据付用基礎工事
- ・山形県遊佐沖洋上風力＝インベナジー・ウインド、環境評価方法書縦覧開始
- ・環境省 青森県沖日本海（南側）＝洋上風力配慮書意見提出
- ・環境省 洋上風力準備書用の調査＝山形県遊佐町沖で初実施
- ・徳山下松港 大水深岸壁整備を継続へ＝ジャケット2基製作手続き
- ・那覇港 管理組合が長期構想案＝戦略施策7項目を打出し
- ・名古屋港 新土砂処分場護岸整備＝西I工区で新たに2件
- ・高松港・坂出港 港湾の長期構想案まとめ＝来年度から改訂作業に着手

- ・神戸港 水素利活用調査事業開始＝CNPへNEDO事業受託
- ・八尾空港 ノースエプロン等舗装＝改良舗装設計業務手続き
- ・大分港 大在西ROROバース＝ケーソン製作4函発注
- ・志布志港 新若浜バルクバース＝ケーソン据付、製作
- ・JBE 徳山下松港等4地区認証＝3地区でクレジット公募
- ・久保田雅晴航空局長 年頭の辞
- ・企業トップの年頭所感（五洋、東亜、東洋、若築）
- ・海事局長 内航CN検討会とりまとめ＝2月省エネ船検討会発足
- ・海事局予算 洋上風力施策を創設＝国産作業船と新技術確立
- ・五洋、鹿島、寄神 1600t吊SEP進水＝大型洋上風力建設に対応
- ・五洋・大豊 マダガスカルの港拡張＝パッケージ2の起工式
- ・経済産業省 海底送電システム調査＝委託事業者の募集開始
- ・設計士会 第10回勉強会を開催＝技術的課題を踏まえた設計

■令和4年1月3日・10日合併号（第1769号）

【令和4年新年特集】

- ・港湾局関係 4年度予算案2642億円確保＝経済好循環加速など重点化
- ・斉藤国交大臣 専門紙記者会の新春会見＝国際バルク戦略港やCNP促進
- ・航空局関係 4年度空整勘定3896億円＝無利子貸付大幅増、滑走路延長や新設など
- ・港湾局 CNPマニュアルを策定＝港湾地域の方向性提示
- ・浅輪港湾局長 令和4年1月年頭所感
- ・港湾関係新規制度 CNP形成計画策定支援＝税制では陸電供給の特例措置
- ・ブルーカーボン 脱炭素化へ第2回検討会開催＝4地区対象にJクレジット公募
- ・国総研 港湾・空港分野の技術支援＝坂克人副所長に取組を聴く
- ・東北地整 小名浜港CNP検討会＝第6回、次世代エネ供給計画等
- ・東洋建設 透過表示システムを開発＝港湾ICT施工の効率化
- ・港コン協 3年度要望、全工程終了＝港湾局、10局への活動総括
- ・港コン協 中部地整に3年度要望＝働き方改革、担い手確保
- ・港コン協 沖縄総合事務局へ要望書＝働き方改革、担い手確保
- ・『改訂新版港湾工学』港コン協が発刊
- ・東京都 3年度東京港のつどい＝長期構想と海外事業展開